

外来診察

脳と心のドック

予約制

認知症・うつ病の鑑別診断

アルツハイマー型認知症・血管性認知症・うつ病・双極性障害・統合失調症など

外来診察のひとつとして鑑別診断を行います。
保険適用

物忘れの原因は、決して認知症のみとは限りません。

- 最近、ものをよく忘れるようになり「私は呆けているのではないか」と感じる高齢者ご本人やご家族の方。それは認知症（呆け）かも知れませんが、実はうつ病でも似た状態が現れます。
- うつ病などは殆どの場合お薬で改善できます。その鑑別を行うのがこのドックの主たる目的です。当院では同様の症例を数多く経験しております。

078-942-1021 明石土山病院「脳と心のドック」受付まで
平日 午前9:00～午後4:00（土曜11:30まで）

診察費用 ※検査料・診察費を含む
初診の方の窓口負担金の例

1割負担 75歳以降

約 2,450 円

2割負担 70～74歳

約 4,900 円

3割負担 6～69歳

約 7,300 円

※窓口での自己負担額は所得など条件により異なります。ご自身の医療保険の負担率をご確認下さい。

3種類の検査

☑ **光トポグラフィ検査** ※この検査での費用は頂きません

脳の動きを目で見える形でグラフ化し、
うつ病や認知症等に現れる特有の波形を見ます。

測定する装置のついた帽子を被って行動した際の、脳内の血流を測定します。髪や頭皮に手を加えたり、また測定中に痛みを伴うような検査ではございません。

光トポグラフィ装置▶



☑ **MR I 検査**

磁気を利用して頭部の断面図を撮影し、
脳の腫瘍・萎縮などを画像から確認します。

エックス線を利用するレントゲンと異なり磁気を利用します。放射線被曝の心配もなく、より身体に負担も少なく済みます。開放型ですので圧迫感がなく、閉鎖空間が苦手な方でも検査して頂けます。

MR I 装置▶



☑ **心理テスト**

臨床心理士によるテストを行います。

機器だけではなく、医師による診察時以外での検査にも実際に臨床心理士が向かい合います。

※外来診察時に検査を行います。検査の結果につきましては後日郵送にてご送付させて頂きます。
※診察の内容により、必要がないと医師が判断した検査は行わない場合がございます。



医療法人社団 正仁会

明石土山病院
介護老人保健施設希望
つちやま訪問看護ステーション
宿泊型自立訓練事業所みどり寮
共同生活援助事業所グループホームノア

基本理念

『人間愛に満ちた医療と』

愛情こもる看護・介護』

〒974-0074
兵庫県明石市魚住町清水2744-30
TEL: 078-942-1021
FAX: 078-941-1573
E-Mail: info@athp.jp

ホームページも是非ご覧下さい

● PC・タブレット・スマートフォン
<http://www.athp.jp/>
● 携帯用 (i-mode)
<http://www.athp.jp/i/>



MIDORI*
季刊誌 みどり

令和4年春号

ご挨拶

理事長 太田 正幸

2022年度を迎えました。まさに世の中を騒がしているのは新型コロナとウクライナ情勢ですが、ウクライナに関しては我々はどうしようもありませんが、新型コロナにおいては当院でもクラスターが発生しましたが、財田院長をはじめ宗和副院長、看護師、栄養士ほか、皆さんのおかげで終息しつつあります。今後も十分注意を払っていただき、職員で少しでも体調が悪いときは必ず休んでください。お休みになられてもしっかり給与はお支払い致しますのでご安心下さい。

パラリンピックをご覧になられたでしょうか。それぞれの障害を支えているスタッフを見ることが出来たと思います。認知症も含め精神障害者の方々に対する援助はいったい何が出来るかを考えるとその方々の気持ちを支えていく、目に見えるもので支えるのではなく心で支える。それが一番だと思います。幻聴や妄想の恐怖を訴える方々もおられます。その内容に肯定も否定もしないという方法がありますが、怖がっている事実を受け入れ話を聞くということがその人の支えになります。

人はプライドを持たないと生きてはいけません。絶対に患者さんを卑下するようなことはしないで欲しいと思います。

新型コロナウイルスについて④

院長 財田 一也

いつも当法人が提供させていただいております医療・介護にご協力とご理解を頂き誠にありがとうございます。今回もこれまでと同様に新型コロナウイルス感染症のお話をいたします。

感染症の疫学用語に「実行再生産数」があります。これはある時点において一人の感染者が他者に感染させる人数の平均値で表現し、1を超えると感染は拡大に向かい、1を下回ると感染は終息に向かうとされています。この原稿を執筆している4月1日の時点で、この実行再生産数が1.0を大きく下回ることはなく、残念ではございますが現段階では第5波のように終息することは期待できそうにありません。ご承知の通り第6波のピークは過ぎましたが、明石市では毎日100人以上の陽性者が確認されております。これまで既に1万7千人のかたが感染しており、20人中1人以上が感染した計算になります。当法人に入院されている患者様や入所されている利用者様のご家族様には引き続き面会・外出・外泊の制限をせざるを得ませんが、どうかご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

病院や入所施設は安心安全を提供する場所でなければなりません。しかし2月末に7-3認知症治療病棟で初めて陽性者が確認され、その後3-1病棟、3-2北病棟でも陽性者が確認されました。これらは完全に終息しましたが、現在3-2南病棟、1-3病棟で陽性者が確認されており、その治療に全力で対応させていただいております。ご心配をおかけしましたことを、この書面をお借りいたしましてお詫び申し上げます。

これまで新型コロナウイルス感染症の治療は対処療法のみとされておりました。しかし最近では中和抗体の点滴、抗ウイルス薬の内服が承認され、適応の有無を慎重に判断したうえで当院でも積極的にその投与を行っております。また有効であるとされておりますステロイドや抗菌薬の投与で重症化を抑え、合併症の肺炎の治療も行っております。不幸中の幸い、と申しますと大変不謹慎ではございますが、全陽性者が重症化に至らなかったことは3回目のワクチン接種が終了していたことと、前述の治療薬がスムーズに入手し投与できたからであると考えます。ワクチン接種や治療薬の投与にはご家族様のご理解と同意が必須となります。今後もよろしくご理解

賜りますようお願い申し上げます。今後も引き続き日々の診察と感染対応に全力で対応してまいります。

令和4年度 辞令交付及び入職式

令和4年4月1日 明石土山病院会議室にて、令和4年度辞令交付及び入職式が執り行われました。桜が咲き本格的な春の訪れを感じる日々となりました。この度入職された職員の皆様、患者さんの為に日々研鑽を積み、より良い医療・介護サービスを提供できるよう共に歩んで参りましょう。



2022/04/01